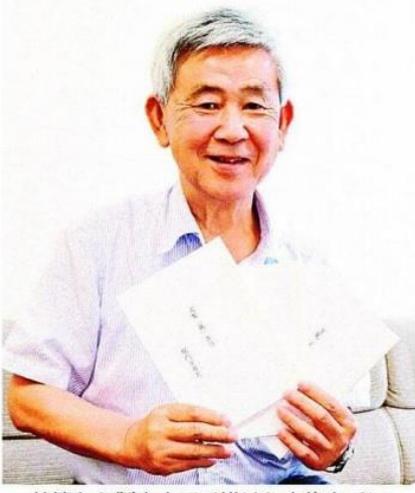


年 組 名前：



執筆から製本まで手掛けた文集を手にする堀内万寿夫さん 二甲府市内

作家・堀内さん

文集自ら執筆、製本

3号分発行 創作に意欲

元県立文学館学芸員で作家の堀内万寿夫さん(74)＝甲府市＝は、自作の小説や随筆などを収めた文集「萬」を発行している。4月に発行所を開設し、執筆から製本、販売まで自ら手掛けていて、4月以降、3号分を完成させた。「製本作業も面白く、新境地を開いている」と本作りを楽しみなが、「80歳までを小説家としての頂点にしたい」と創作に意欲を見ている。

〈杉原みずき〉

文集「萬」は1979年に創刊号を製作。2年後の第2号まで印刷会社に依頼し自費出版したが、その後は出版社を通して作品を発表するなど

して作っていないかった。「心機一転して執筆し、作品を多くの人に読んでもらいたい」と、自分のペースで発表できる発行所を考えた。

4、5、7月に第3～5号を発行。新作の歴史小説や歌人柳原白蓮を題材にしたノンフィクション、作家太宰治が

市内に下宿した際に使用した火鉢にまつわる読み物などを収載している。製本の経験はなかったが、「文字の大きさや1行の文字数など、どうすれば読みやすいか工夫するのが楽しい」と気づいたという。

各号50部を製作。県立、甲府市立の図書館に寄贈したほか、1部200円で販売している。今後も2～3カ月に1号のペースで発行する予定。昨年12月には、これまでに手掛けた著作10冊ずつを、県内22カ所の市町村図書館に寄贈した。現在は初めてのミステリー小説に挑戦中で、堀内さんは「自分が残した作品を広く知ってもらい、読者の声を聞きたい」と話している。

(2023年7月25日付 山梨日日新聞17面)

問1

作家の堀内さんは、どのような作品が収められた文集を、どのように発行していますか。

- ・どのような作品：
- ・どのように発行：

問2

第3～5号には、どのような作品が収載されていますか。3つ答えてください。

- ・
- ・
- ・